



「千両 万両 有り通し」

江戸のお囃子

### Million, Billion, Full Purse!

- a sales pitch from Edo era -

「千両 万両 有り通し！  
千両 万両 有り通し！」

江戸の町に、威勢のいい掛け声が響き渡ります。

これは昔の金運アップのおまじないで、大金がいつも手元にあるぞという意味です。お正月を迎える町で商売繁盛を願う、人々の楽しそうな笑顔が目に見えます。

さて、このセンリョウ、マンリョウ、アリドオシは全て実在の植物です。

まずは皆さまお馴染みの、正月のお飾りである千両と万両。

アリドオシは別名「一両」という名前の、これも赤い実がなる植物で

棘が鋭く、蟻も刺さるといふ例えから「蟻通し」といふのが本当の名前です。

江戸の人々は語呂合わせが大好きだったので、この三種の植物を合わせて

庭先に植えたり、寄せ植えにして縁起をかつぎました。

「いくら使ってもお金が無くなりませんように！」

そんな茶目ついたつぷりの掛け声に応えるように、お正月のお飾りには

千両も万両も赤い実をたわわにつけて応援しています。

また新しい年がやってきます。

来年もお花と共に、たくさん笑顔をお届けられますように。

皆さまのご多幸と商売繁盛を心よりお祈りしております。

### 花物語

比田井宗玉

